

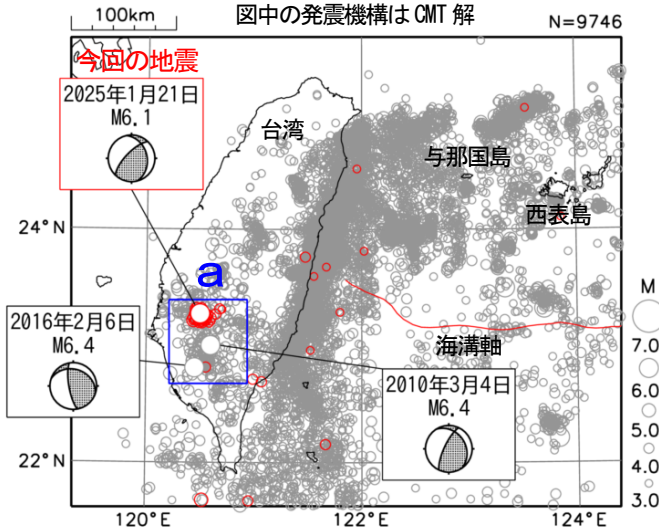
1月21日 台湾付近の地震

震央分布図

(2009年9月1日~2025年1月31日、
深さ0~100km、M \geq 3.0)

2025年1月の地震を赤く表示

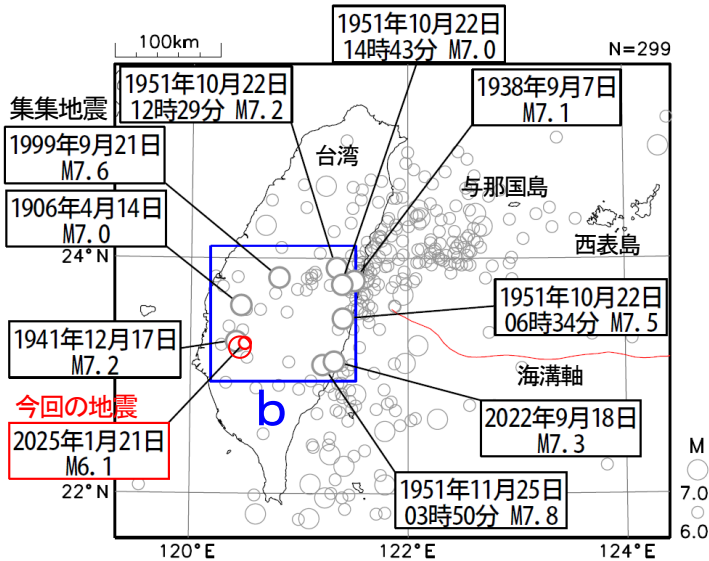
図中の発震機構はCMT解



震央分布図

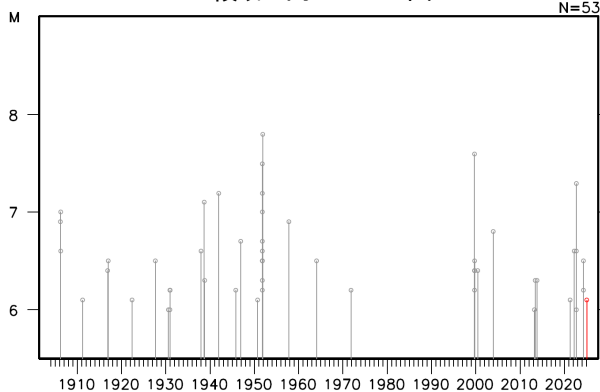
(1904年1月1日~2025年1月31日、
深さ0~100km、M \geq 6.0)

2025年1月の地震を赤く表示



2020年までの地震の震源要素はISC-GEM、
2021年以降の地震の震源要素は気象庁による

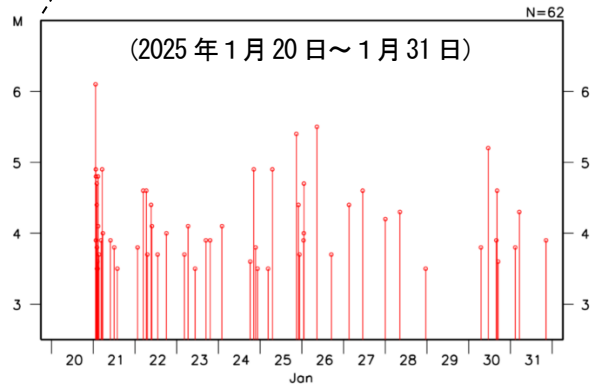
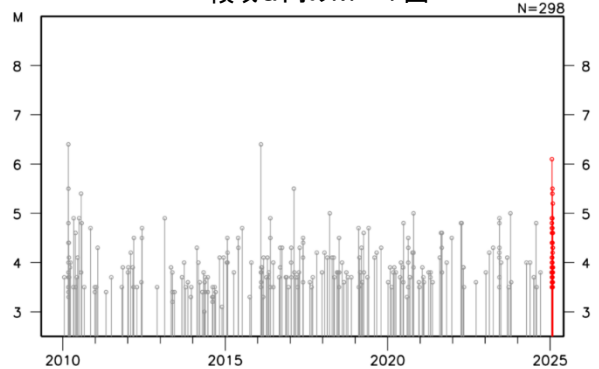
領域b内のM-T図



2025年1月21日01時17分に台湾付近でM6.1の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度1）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は、西北西-東南東方向に圧力軸を持つ型である。

2009年9月以降の活動をみると、この地震の震央付近（領域a）では、2016年2月6日にM6.4の地震が発生するなど、M6.0以上の地震が3回発生した。

領域a内のM-T図



1904年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、過去にM7.0以上の地震が時々発生している。1999年9月21日に集集地震（M7.6、日本国内で観測された最大の揺れは震度2）が発生し、台湾では死者2,413人、負傷者8,700人などの被害が生じた（被害は、宇津の「世界の被害地震の表」による）。